

寺報

平成30年(2018)正月号第126号(1)

発行 福島市田沢字寺前18
長秀院・仲興寺

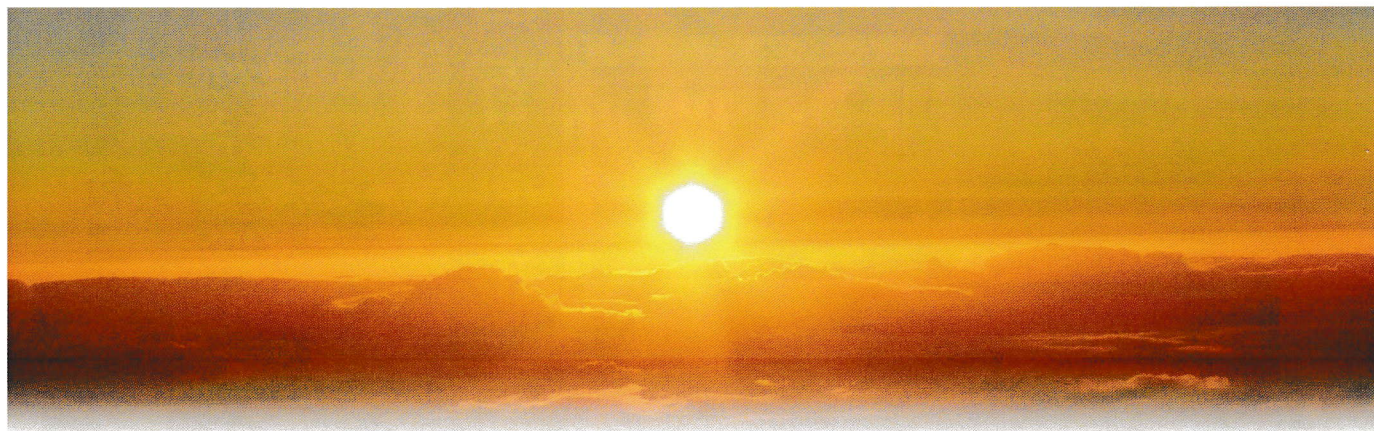
TEL 024(548)1240

FAX 同上

ホームページ <http://www.choshuin.jp/>

e-mail info@choshuin.jp/

編集責任・渡辺 祥文



恭賀新禧

専ら祈る所は

正法興隆 修道無難

国土安穩 万邦和平

特に祈る所は

福寿長久 子孫繁栄

諸災消除 諸縁吉祥

切に祈る所は

早期復旧復興

原発事故収束

仏紀二五八四年
邦暦平成三十年
西暦二〇一八年

元旦

山主 文祥 拜

平成二十九年十一月三十日

正法寺参拝旅行



「日本一の茅葺屋根、

東北の本山と呼ばれた

奥の正法寺にて」



長秀院開闢 元和三年（一六一七年）十一月十二日

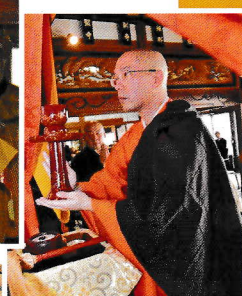
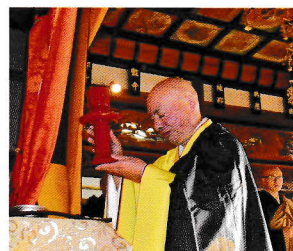
平成二十九年（二〇一七年）十一月十二日 午後一時より四時半

記念報恩法要厳修円成

開闢四百周年法要の様子



「長秀院物語」 門間クラ氏



タカノ&ミユキ コンサート

梅花流創立六十五周年記念

福島県奉讃大会

平成二十九年十月三十一日、福島市パルセ飯坂において、創立六十五周年記念の県大会が挙行されました。

長秀院講・仲興寺講ともに登壇奉詠を行い、第一教区として見事なものでした。特に本年は「詠題・詠頭」のご奉詠も選ばれ、立派な登壇奉詠となりました。まさに日頃の努力の賜物でありました。毎回練習を重ね、皆で笑いあい、話しあっています。それぞれ悩みのない人などありません。お釈迦さまのみ教え、道元禅師さまのみ教え、瑩山禅師さまのみ教えを、節をつけてお唱えするのが梅花流です。新しい方々も本当に楽しそうに取り組んでいます。とても尊いことです。今回創立六十五周年という年の素晴らしい奉讃大会に参加できたことを、講員一同無上の喜びと感じています。



仲興寺講



長秀院講

除夜の鐘



2017年12月31日

午後11時30分打出し

除夜の鐘を撞きましょう!!

どうぞ、どなたでもおまいりください。おまちしています。先着順に撞いていただきますので宜しくお願いたします。係の方の誘導に従って下さい。

行事案内

★長秀院

十二月三十一日 午後十一時三十分

除夜の鐘打出し

元旦 午前零時三十分

元朝祈禱

★仲興寺

元旦 午前一時三十分

元朝祈禱

以降 一月中、年始回礼

年頭回礼だけでは間に合わなくなつてまいりました。つきましては、年末にご挨拶申し上げます。お宅もでてまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

おねがい

年始回礼中は不在となります。まず、ご相談等の場合はご来山前に確認をお願いいたします。

電話〇二四一五四八一二四〇
FAX 右同

年回正当

年回正当のほとけ様方のご命日をご確認ください。また、ご連絡と貼り出しをご覧頂きますよう、お願いいたします。

年回表

一周忌	平成二十九年(二〇一七)
三回忌	平成二十八年(二〇一六)
七回忌	平成二十四年(二〇一二)
十三回忌	平成十八年(二〇〇六)
十七回忌	平成十四年(二〇〇二)
廿三回忌	平成八年(一九九六)
廿七回忌	平成四年(一九九二)
卅三回忌	昭和六十一年(一九八六)
卅七回忌	昭和五十七年(一九八二)
五十回忌	昭和四十四年(一九六九)
百回忌	大正八年(一九一九)
百五十回忌	明治二年(一八六九)
二百回忌	文政二年(一一八九)
二百五十回忌	明和六年(一七六九)
三百回忌	享保四年(一七一九)
三百五十回忌	寛文九年(一六六九)
四百回忌	元和五年(一六一九)